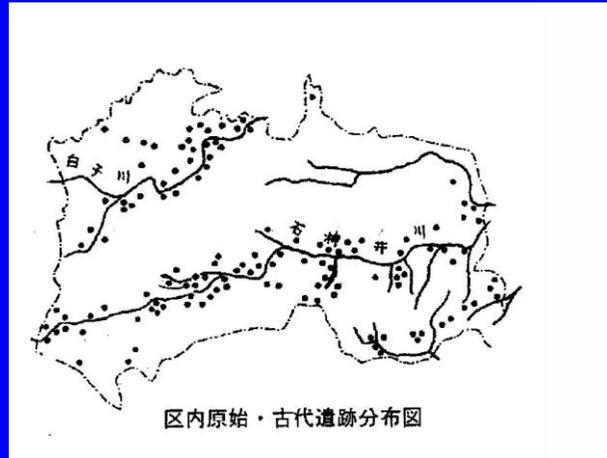


大昔の田柄

大むかしの田柄は、関東ローム層という富士山の噴火の際に積もった火山灰台地でできています。

この中から旧石器(簡単な石の道具)が発掘されており、数万年前から人が住んでいたことがわかります。今から、一万年くらい前から黒土が積もり始め、この中からは、縄文式土器が発見されています。また、そのころの住居跡と思われるたて穴式住居の跡も白子川流域で見ついています。田柄川などにも、水流を求めて大昔の人々が移って住みはじめたと思われます。

田柄地区、光が丘のまわりには遺跡が発見されていませんが、春日町では、尾崎遺跡が発掘され、旧石器時代の遺物が春日小学校に展示されています。



区内原始・古代遺跡分布図